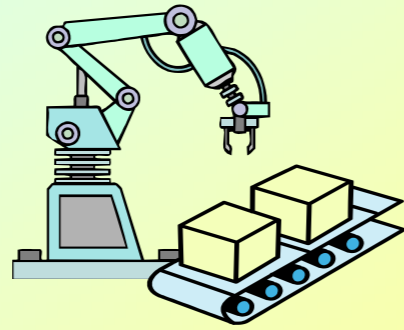




# AMITEC 加工情報バーコードラベルの活用例



切断



仕分け

歩留り優先の配置計算では、部材のサイズを基準に複雑な並べ替えが行われます。  
 その結果、部材は後工程の生産性と相反するランダムな順序でカットされてしまいます。  
 しかし、計算された切断順序に基づいてラベルを印刷し、切断時に順次ラベル貼付けを行えば、後工程での仕分けがとても簡単になるだけでなく、バーコードなどのツールを活用することでライン全体の生産性を大きく向上させることが可能です。

(ワーク材質や印字内容によっては、インクジェット印字やレーザ印字への対応も可能)

NC加工プログラム



NC加工機などのプログラム番号をバーコード化し、自動的にプログラムを呼び出します。

コンベア上に設置した固定式リーダと組み合わせ、自動段取替えのライン構築などにも応用可能です。

小さなラベルで大きな効率化

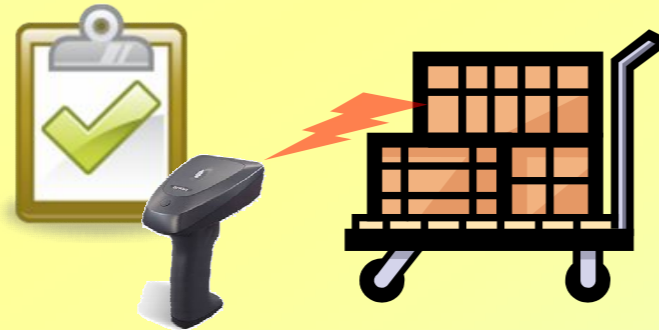
品番: ABC-DEF 物件: ○○邸新築 工程コード: 0123 出荷先: △△開発 納期: 08/01	<b>！特急品！</b>
NC→組立→出荷 【逆勝手仕様注意】 【特寸: 1000×500】	



作業指示

作業者が読み取れる文字情報も重要なツールです。

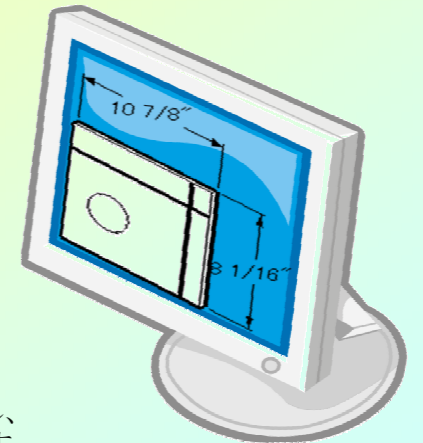
品番などの基本情報はもちろん、特殊仕様に対する注意喚起など、アイデア次第で工程の流れがスムーズになる工夫が出来ます。



梱包・出荷確認

物件対応の生産では、物件別・フロア別・部屋別など、細かく仕分けした状態での梱包・出荷が要求されることもあります。

ラベル上にこうした出荷情報を加えることで、確実な梱包や出荷実績のデータ収集などが行えます。無線式バーコードリーダを使えば、広い範囲で移動しながらの利用も可能になります。



加工図面の表示

部材の図面番号をバーコード化し、PCモニタにCAD図面を表示します。

作業者が手に取った部材の図面を瞬時に表示できますので、紙図面を探す手間も無く、確実に図面との照合が可能です。